

令和3年度(2021年度) 学校評価表(中間報告)

学校番号	28	学校名	上田千曲高等学校
------	----	-----	----------

学校重点目標	<p>①オンリーワンの存在をめざし、生徒満足度が高く活力のある学校をつくる。</p> <p>②総合的な専門高校として、連携や魅力的な学びを体系的に行い、進路実現につなげる。</p> <p>③ICT機器等を利用して、授業力、教師力、学校力を高め本校教育について広く発信する。</p> <p>④地域の教育力・人材を活用して教育の質を高めるとともに地域と連携し活性化に貢献する。</p> <p>⑤生徒の人権を尊重し保護者と連携して、いじめや体罰の無い安全・安心な学校をつくる。</p>
---------------	---

評価対象	評価項目	評価の観点	中間評価
学習指導	専門教育の充実	生徒の実態に即し、創意工夫のある授業を展開することができたか。	各専門科の特性を活かしながら、生徒の意欲を導き出すことを心がけ工夫した授業を行っている。
	資格取得の充実	生徒が資格取得に興味関心を示し、生徒一人ひとりが積極的に取り組むことができるように指導することができたか。	各種資格取得・検定などを生徒に積極的に提示し、資格取得に積極的にチャレンジできるように努力している。
	学習意欲の向上	<p>時間外の講習会や長期休業中の補習を充実させ、生徒にとって満足いく成果が得られたか。</p> <p>生徒の学習意欲を向上させるため、校外実習や外部講師による授業など、多角的に理解が深まるように工夫し、実践することができたか。</p> <p>生徒にとって分かりやすい授業を実践することができたか。また、理解できない生徒に対して個別の支援がしっかりできたか。</p>	<p>朝や放課後の補習等を積極的に実施し、生徒が資格を取得できるように取り組んでいる。</p> <p>ICTの活用や校外実習、外部講師の活用等、生徒の理解状況に合わせ授業を工夫し、生徒の意欲喚起を図っている。</p> <p>ICTが導入され、新しい授業スタイルを展開できるようになった。しかし個別支援の域にまでは達していないのが現状である。</p>
進路指導	進路実現	生徒の適性や学力を的確に把握し、進路指導に役立てられたか。	就職希望者への個別面談を行い、生徒の適正や希望を把握し、進路指導に反映させた。
		キャリア教育を実践し、進路選択の可能性を広げることができたか。	COVID-19の感染状況により、キャリア教育（インターンシップ・企業見学など）の一部が実施できなかった。
		保護者との連携を密にして指導を行うことができたか。	担任との連携を図り、懇談など担任と保護者の連携を密にできるよう努力した。
		進路実現のために基礎学力の向上を関連部署と連携して推進できたか。	看護系希望者に対し説明会を開催し、オリジナル教材を用いて対策を行った。
		COVID-19感染拡大防止策を講じながら、可能な限り指導計画を実施する。	今夏に一部実施できなかったインターンシップについては今後のCOVID-19感染状況を見ながら、時期をずらして実施する予定。
生徒指導	基本的な生活習慣	頭髪などの身だしなみから生活習慣を見直し、社会で通用する基本的な生活習慣とマナーの確立を図り、地域から信頼される千曲高生を目指す。	生活規律を守る運動を定期考査前に実施し、継続的に指導をしている。貴重品の管理については、なかなか定着せず盗難事案が文化祭の折に起きてしまった。今後も指導を継続しながら徹底を図る。
		クラス・学年・学科の枠を超え、協力し合って指導することができたか。	学年会・学科と情報共有し指導をしている。
	安全安心な学校	良好な学習環境を守る意識を、生徒に考えさせることができたか。	生徒会と連携し、千曲祭・自転車施設等の指導を行い、啓発活動を実施した。校内巡視や週番活動を実施しながら学習環境を整える意識を高めている。（挨拶運動、交通安全講話を実施した）
生徒会活動	自主活動への支援	校内情報の共有化により、職員一致による安全な学校作りをおこなう。	校内LANにより、遺失物・アルバイト許可者・四輪免許教習許可者が閲覧可能になっている。また、グループウェアを利用し、注意・指導情報を発信している。
		人権を尊重した取り組みを実践することができたか。	COVID-19感染予防対策をしながら、千曲祭やクラスマッチ等の行事を行うことができた。
開かれた学校作り	公開授業等	生徒会活動の中に地域連携をひとつの柱として捉え、生徒の自主性を育む。	COVID-19感染予防対策をしながら、「城下あいさつ声かけ運動」に城下地区の皆様と活動することができた。
		公開授業や研究授業を通して、外部の意見を参考に教員相互に研修を深め、資質の向上を図る。	COVID-19感染予防対策のため、5、10月の公開授業を中止とした。7月に計画した体験入学を中学3年生限定で書き対策、感染予防対策を十分とり実施。現在12月の三者懇談期間や工業科課題研究発表会、活動発表会での公開授業の有無も含め実施方法を検討している。
	PTA活動	本校の教育活動を広く理解してもらえよう、学校案内・HPを充実させ、積極的に地域のイベントに参加する。報道機関へ情報提供を行い、各種メディアを利用して活動情報の発信を図る。	各専門科や生徒の活躍などが各報道機関で20回程度取り上げられた。生活福祉科では、「ちくまオンラインハートカフェ」を開催しオンラインで高齢者の方々と交流を深め、好評をいただいた。HPでは4月から9月末までに20回以上の新たな情報発信があった。
		諸々の課題を保護者・職員で共有すると共に、高校生活が有意義になるよう連絡を密にする。家庭への連絡を密にするため、メール連絡網システムの登録数増を図り、折に触れ情報発信を心がける。	COVID-19感染予防対策の為、6月PTA作業、9月PTA研修旅行を中止とした。5月PTA総会は書面議決で行った。コロナ禍を経験し、来年度以降のPTA開行について検討を始めている。メール連絡網システム(オクレンジャー)は、生徒用・保護者用に分けて利用出来るようになり、活用しやすくなった。